



～掲載内容～

～ページ～

○普及現地情報

- 「待ちに待った ほうれんそう大収穫祭！」 . . . 1
- 「ブロッコリーの農作業体験会を開催しました」 . . . 2
- 「たくさんこねた分、美味しいおそばに！久慈市山形町の「手打ちそば」を学ぶ」 . . . 3
- 「短角牛の新たな肥育体系を実証しています！」 . . . 4

○新規就農者の情報をお寄せください！

別 添

久慈農業改良普及センターでは、就農に役立つ事業の紹介や就農準備のお手伝いなど、新規就農に関する様々な支援を行っています。

お近くで新たに就農した方や就農を目指している方などの情報がありましたら、別添のチラシによりお寄せください。

待ちに待った ほうれんそう大収穫祭！

寒さが厳しくなってきた11月5日、久慈小学校3学年104名の生徒が、ほうれんそうの収穫、調製及び袋詰めを行いました。

久慈地域で生産が盛んなほうれんそうについて学習する目的で、9月4日の種まき、10月1日の間引き作業を経て、今回の収穫に至りました。

普及センター職員から説明を受け、生徒達は慣れない手つきながらも、丁寧にほうれんそうを抜き取り、根を切り、下葉をとるなど、販売できるようにきれいに調製し、重さ

を量って袋に詰めました。

生徒達からは「小さな種からこんなに大きくなってビックリした」、「いっぱい収穫できた」という驚きの声や「家に持って帰って美味しく食べたい」という声が聞かれました。

新型コロナウイルス感染防止対策のため、販売体験を除いた形での農作業体験となりましたが、生徒達は久慈地域の特産であるほうれんそうの栽培について興味を持って学んだ様子でした。



「すごく大きくなって、なかなか抜けないなあ」
「根っこが太いよ！」



「ほうれんそうってこんなに重さがあるんだ！」

ブロッコリーの農作業体験会を開催しました

久慈地方農業農村活性化推進協議会では、園芸品目の新規栽培者を確保するため、11月12日に野田村の生産者の圃場で、ブロッコリーの農作業体験会を開催し、栽培に興味を持っている5名が参加しました。

当地域のブロッコリー栽培は、平成30年度から本格化したため、栽培面積はまだ少ないですが、ほうれんそうの補完品目として、JA 新いわて久慈地域野菜部会の座談会等により推進しています。

参加者は、講師を務めた生産者から収穫適期のブロッコリー

の規格や収穫方法の説明を受け、慣れない作業に苦戦しながらも、楽しく収穫を行いました。その後、JAの集出荷場へ移動し、収穫したブロッコリーの大きさによる選別、箱詰め前の葉や茎の切除による調製、箱詰め作業を体験しました。

現在栽培している品目の輪作品目としてブロッコリーの導入を検討している参加者からは、「実際に作業を体験して、栽培のイメージが掴めて良かった」と、新規作付けに向けて前向きな声を聞くことができました。



、収穫適期のブロッコリーを見極めて、参加者が収穫しました。



講師から指導を受け、ブロッコリーの調製作業を行う参加者

普及現地情報
令和2年11月30日
久慈農業改良普及センター
記述者 山本 明日香

たくさんこねた分、美味しいおそばに！ 久慈市山形町の「手打ちそば」を学ぶ

久慈農業改良普及センターでは、本年度第2回目となる「久慈東高校への郷土料理伝承会」を11月20日に開催しました。

久慈市山形町霜畑地区の食の匠「成谷自然食の会」代表の岩脇ヨシエさんを講師に、食物系列13名の生徒が「手打ちそば」づくりに挑戦。

山形町霜畑地区のそばは、“つなぎ”に地元の豆腐と卵を使い、しなみ(伸びること)が出るのが特徴です！

そば打ちは初めてという生徒がほとんどで、岩脇さんがそばをこねる技に真剣に見入

っていました。

生徒たちが、そばの生地を乾燥させないようにしっかりこねたため、とても美味しくなおそばが出来ました！

生徒たちからは、「自分で作ったそばはとても美味しい」、「年越に家でも作りたい」などの感想があり、岩脇さんからは「そばは手づくりしたものが一番美味しい。家でも是非作って食べて欲しい」と話がありました。

普及センターは今後も、久慈地域に伝わる郷土料理が若い世代に着実に受け継がれるよう応援していきます。



▲岩脇さんと一緒にそばをこねる生徒



▲美味しくできあがった手づくりのそば

普及現地情報
令和2年12月4日
久慈農業改良普及センター
記述者 高畑博志

短角牛の新たな肥育体系を実証しています！

本年度から当普及センターでは、地域経営推進費を活用し「混合飼料」を主体とした日本短角種の新たな肥育体系の実証に取り組んでいます。

現行の短角肥育は、デントコーンサイレージを主体に配合飼料などを組み合わせますが、実証に取り組む肥育体系は「混合飼料」(醸造副産物を主体に久慈市産の粳米サイレージ等を混合し発酵させたもの)を飽食給与します。

今回給与する「混合飼料」は、醸造副産物に(株)ベアレン醸造所のビール粕を使用し、久慈市内の業者に製造を委託

することで、環境に配慮しつつ、より低コスト化を図っています。

この体系が実証できれば、新規就農等でサイレージ調製する基盤がなくても、短角牛肥育が可能となります。

令和2年11月末現在、去勢肥育牛3頭は平均17.1ヶ月齢で、推定体重は460～590kgとなっており、順調に発育しています。

今後は、来年夏頃に予定している出荷に向け、安定した飼養管理を継続して支援し、出荷後には食味調査と肥育コストの検証を行う計画です。



体高と胸囲を毎月測定し、
発育状況を把握



混合飼料の嗜好性は良好

～いわてアグリベンチャーネット掲載記事の紹介～

いわてアグリベンチャーネットでは、毎月、各地域の農業情報をお知らせしています。

【11月分の掲載記事】

○産地紹介：『「東北一のピーマン産地を目指して」～JA 岩手ふるさと園芸部会ピーマン専門部と共に～(奥州)』

○人物紹介：『第3の人生を“りんご”と共に歩む 近藤弘樹さん(二戸)』

下記の URL、または右の QR コードからご覧ください。

<https://i-agri.net/Index/gate004/003/18226>



久慈農業改良普及センターfacebook 公開中！

久慈寒次郎が、最新の情報や HOT な情報をお届けします。

下記の URL、または右の QR コードからご覧ください。

<https://www.facebook.com/岩手県久慈農業改良普及センター-581601925540151/>



ぜひ、情報をお寄せください！！

新規就農した方や 就農を目指している方が ご近所にいませんか？

久慈農業改良普及センターでは、就農に役立つ事業の紹介や就農準備のお手伝いなど、新規就農に関する様々な支援を行っており、情報を集めております。

お近くで 新たに就農した方や就農を目指している方 などの情報がありましたら、下記によりお寄せください。よろしくお願いたします。

1 対象者

(1)令和2年度に就農した方

※ 就農時期が不明でも構いません

(2)就農を目指している方や検討している方



2 締め切り 令和3年3月15日（月）まで

(上記の期限後も随時、情報をお待ちしております。)

3 情報を提供していただく方法

久慈農業改良普及センター あてに**電話**、あるいは裏面を記載の上、**FAX** または **担当普及員** に直接お渡してください。(担当普及員が訪問した際に、口頭で教えていただいても構いません。)

4 問い合わせ先

久慈農業改良普及センター 菊地 電話：0194-53-4989

なお、提供いただいた個人情報は岩手県就農促進会議(県農業公社、県機関、県農業会議、県農協中央会)並びに久慈地方農業農村活性化推進協議会での情報共有及び新規就農者の支援以外の目的では使用しません。

久慈農業改良普及センター 菊地 あて

電話：0194-53-4989

FAX：0194-53-5009

情報提供者名：_____

(電話番号： _____)

新規就農者等の情報

フリガナ		年代
氏名 (〇〇さんの息子などの 記載でも構いません)		代
作目		
就農形態 (分かればで結構です) ※当てはまる項目に○を つけてください (複数可)	新規学卒 ・ 親元就農 ・ 新規参入 ・ 退職帰農 その他()	

※提供いただいた個人情報は、岩手県就農促進会議(県農業公社、県機関、県農業会議、県農協中央会)並びに久慈地方農業農村活性化推進協議会での情報共有及び新規就農者の支援以外の目的では使用しません。

久慈農業改良普及センターとともに、
久慈地域で農業を始める方を
応援しましょう!!

